静岡県静岡市　すずきさとる県政報告会＋特別座談会

# 学校づくり・子育「ち」・まち育てはセットでできる！

## ～防災も、子育ても、地域活性化も、すべて「学校」で解決～

秋津小学校校庭に咲く林檎の花


2013年5月11日
岸　裕司
㈱パンゲア代表取締役
秋津コミュニティ顧問
文部科学省コミュニティ・スクールマイスター
埼玉大学教育学部・日本大学非常勤講師
学校と地域の融合教育研究会副会長




# 岸　裕司の自己紹介

ビオトープでカエルをつかまえた！

- 昨年還暦　60歳
- 成人した3人の子どもの父親
- 東京からUターンの長男家族と同居　3世代7人家族
- 孫が3人　「ユーくん」と呼ばれている
- 千葉県習志野市の埋め立て地・秋津に居住33年目
- 秋津の3人のお父さんと子ども会創設・地域デビュー
- 保育所・学童保育親の会　キャンプなどで活動
- 秋津小学校PTA役員7年　1986～1991年度
- 秋津コミュニティ創設22年目　1992年1月
- 秋津小学校コミュニティルーム開設18年目　1995年

## 習志野市秋津地区（団地＋戸建）の概要

・1980年秋津のまちと幼稚園併設の秋津小学校が東京湾の埋立地に同時に誕生、33年目。

・1990年度から3年間、生涯学習研究指定校。PTA中心に学校・家庭・地域の融合教育を開始

・1991年　おやじたちが飼育小屋新築　おやじのデビュー　その後も図書室・幼稚園の飼育小屋などのモノづくりに貢献

・1992年創設の**秋津コミュニティ**約40のサークルには、おやじが主の工作クラブやパソコン倶楽部から各種の音楽系があり、自らの学びとともに授業に参画している人が多い

・1995年開設の**秋津小学校コミュニティルーム**（4教室＋陶芸窯＋敷地300㎡）の鍵は、住民委員51人の内15人が管理貸し出ししながら生涯学習を推進

・2000年　延べ1000人参加し防災井戸掘り実施



## 習志野市秋津地区（団地＋戸建）の概要

・2001年ビオトープ設置・休日も賑わうコミュニティガーデン

・2001年中学校区で総合型地域スポーツクラブ創設

・2006年市教委から「コミュニティ・スクール（「学校運営協議会」）」の指定を千葉県最初に受けた

・コミュニティルームは365日開放。放課後休日240日開催の多世代交流教室「秋津・地域であそぼう！」を自主運営。学校を拠点に誰でもが集い学ぶ「居場所」

・2012年現在秋津小児童数342名（最盛期の1/3）。人口6996人、2868世帯、2687戸、内分譲2111（78.6％）戸

・一世帯平均2.44人（全国平均2.36人）、65歳以上の高齢化率26.6％（国平均23.3％、2011.10）

・0～15歳人口805人（11.5％）に対し、退職前と直後の元気なシニア55～65歳人口1343人（19.2％）もいることからシニア1.7人が0～15歳児各1人に関わることが可能

## 時代の変化からなすべきことを読み取ろう＝マーケティング力
## 時代の変化が生涯学習＆福祉コミュニティづくりを要請
## 同時に地域ぐるみで子育てが必要な時代ー少子化・核家族化の進展

◆平均的な日本人のライフサイクルの変遷

大正期（１９２０年・大正９年）＝この年に「通俗教育」の用語が「社会教育」に替わり使われ始めた年

| | 結婚 | 長子誕生 | 末子第５子誕生 | 長子結婚 | 夫定年 初孫誕生 | 夫死亡 | 妻死亡 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 夫 | 25.0 | 27.4 | 39.7 | 52.4 | 55.0 | 61.1 | |
| 妻 | 21.2 | 23.6 | 35.9 | 48.6 | 50.9 | 57.3 | 61.5 |

夫の寿命は18.1年伸びた

妻の寿命は24.4年延びた

世帯人数

６～７人（推定）

では静岡市の一世帯平均人数は？ 2.38人

現代（２００３年）

| | 結婚 | 長子誕生 | 末子第２子誕生 | 夫定年 | 長子結婚 | 初孫誕生 | 夫死亡 | 妻死亡 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 夫 | 29.4 | 31.4 | 33.7 | 60.0 | 60.8 | 62.8 | 79.2 | |
| 妻 | 27.6 | 29.6 | 31.9 | 58.2 | 59.0 | 61.0 | 77.4 | 85.9 |

２．４３人 厚生労働省 2008.3

大正期・1920年分の出典：岡本祐三著『高齢者医療と福祉』岩波新書、1996年初版
2003年分の出典：鬼頭宏「日本の少子化（第3回）」（AGING 2005年春号）、厚生労働省「人口動態統計」、「生命表」をもとに岸裕司が浅見美穂氏のアイデアから作成。

**さて、格差社会にあえぎ、家庭を持つことさえも大変な若者は…**



## だから教育の「憲法」に生涯学習が新設されたのか

国も融合へ

秋津小学校の鯉のぼり（毎年５月）

**06改定教育基本法**（2006年12月改定）

**第３条　生涯学習の理念**

**国民一人一人が、自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、その生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に生かすことのできる社会の実現が図られなければならない。**（傍線は岸による。「国民」は現場では「在日外国人」を含む「市民」と考えたい）

「第３条生涯学習の理念」が「第１条教育の目的」「第２条教育の目標」に次いで第３条に位置づけられ、「第４条教育の機会均等」「第５条義務教育」「第６条学校教育」「第12条社会教育」などの上位にあることの意味は、**日本が「生涯学習社会の実現」を教育政策上の最重要課題としたことの表れ。**

## 上位法が変わると下位法も変わる
## 子どもも生涯学習の対象と法制化

休日に秋津小学校コミュニティルームであそぶ子ら

国も融合へ

**07改定学校教育法**（2007年6月改定）

**第30条2項**

**生涯にわたり学習する基盤が培われるよう、基礎的な知識及び技能を習得させるとともに、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力その他の能力をはぐくみ、主体的に学習に取り組む態度を養うことに、特に意を用いなければならない。**（傍線は岸による）

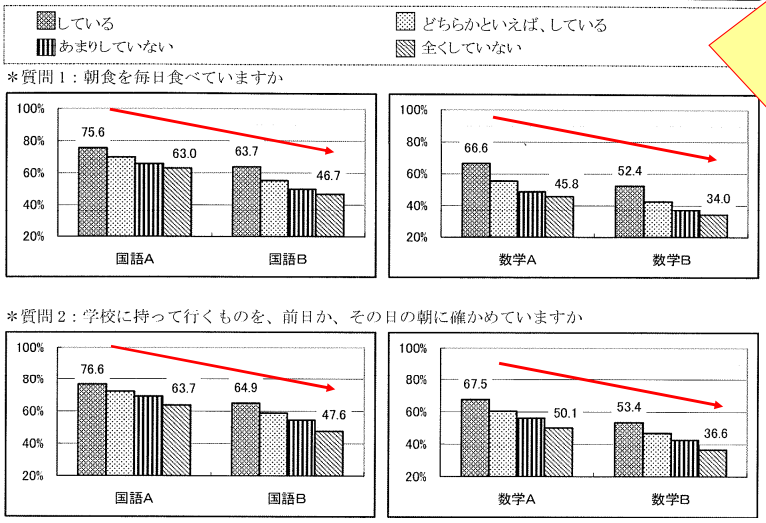
**※第30条は小学校であるが、中学・高校・特別支援学校も準用**



## じゃあ、学校・家庭・地域の連携・融合がどうして必要か？
## 中学生の全国学力・学習状況調査（中学3年生）結果H20年度より

だから家庭・地域が大切。学校任せはダメ

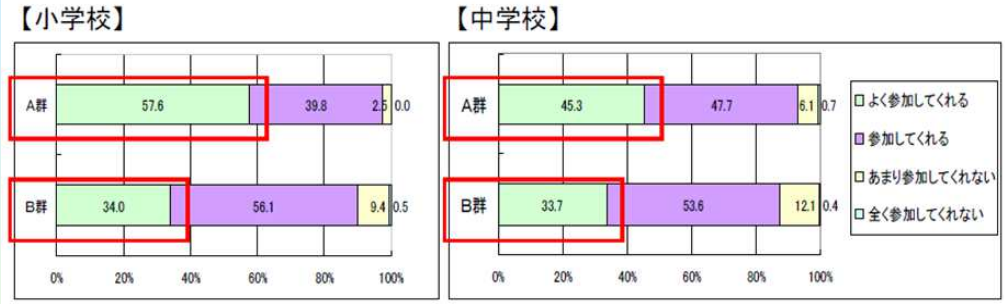
○　朝食を毎日食べている生徒、学校に行く前に持ち物を確認している生徒の方が、正答率が高い傾向が見られる。




出展：文部科学省　H20.4/22実施の調査結果

家庭の違いが学力の違いにあらわれる

## でも、PTAや地域の人が学校の諸活動にボランティアとして参加すればするほど、子どもの学力があがる




小中学校とも平均正答率が5ポイント以上全国平均より上回る学校（A群）の方が、5ポイント以上全国平均を下回る学校（B群）より、「PTAや地域の人が学校の諸活動に参加してくれると回答している割合が高い」傾向が見られる（全国学力・学習状況調査結果H21年度）より

⇒だから、ボランティアの導入で先生は良い意味で「楽してよい」のです。



## だから、学校・家庭・地域一体でとなったのか？

国も融合へ

学校・家庭・地域社会との連携・融合を推進する法的根拠

第七中学校の花壇づくり。2009年夏休み

改定教育基本法（2006年12月改定）

第13条　学校、家庭及び地域住民等の相互の連携協力

学校、家庭及び地域住民その他の関係者は、

教育におけるそれぞれの役割と責任を自覚するとともに、

相互の連携及び協力に努めるものとする。

そして、保育所・共同学習が加わり
福祉的な校区づくりも学校の役割に
08改訂小学校学習指導要領
2011年度から完全実施

国も融合へ

文部科学省告示　2008年２月
第１章総則　第４　（傍線が追加）
指導計画の作成等に当たって配慮すべき事項
２ 以上のほか，次の事項に配慮するものとする。
（12）学校がその目的を達成するため、地域や学校の実態等に応じ、家庭や地域の人々の協力を得るなど家庭や地域社会との連携を深めること。また、小学校間、幼稚園や保育所、中学校、特別支援学校などとの間の連携や交流を図るとともに、障害のある幼児児童生徒との交流及び共同学習や高齢者などとの交流の機会を設けること。

福祉コミュニティづくりも



しかし「学校は憂鬱」
なぜかを理解しよう。保護者や地域の人へ
学校が支援を必要としている背景

Q1.全国の小中学校(義務教育)の教員数は？
⇒67万人。全人口1億2千8百万人の0.5%。1/200人

Q2.その教員の平均年齢は？
⇒43.3歳と高齢化。スポーツ指導がけっこう大変

Q3.通学や帰宅途中の事故の責任は？
⇒学校。でも現実的じゃないよね

Q4.新学習指導要領での中学校必修化は？
（小学校だって、英語が必修で小中学とも時間増）
⇒武道とダンス

だから学校にみんなが集い学校を支援しながら生涯学習を楽しもう！

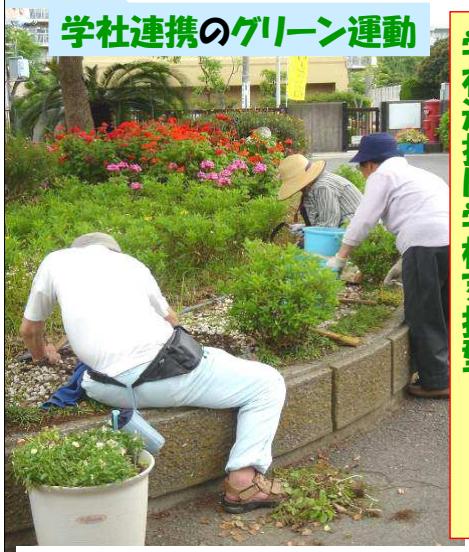
## じゃあ、地域は学校にどんな支援ができるの？

**「開いて安全を確保する」日常活動**

信頼できる人を増やす＋学校の安全と地域の安全は一体

秋津実践

学社連携のグリーン運動



学社融合は学校と地域の互酬型

学社連携は学校支援型

学社融合のクリーン運動

高齢者の居場所「サロンあきつ」も
秋津コミュニティで月2回開き、子どもとふれあう

## 例えば、安全安心支援ボランティア

秋津実践

毎日が楽しくって、家にいるのが
いやになっちゃう！と、竹林輝夫さん

校外学習の引率も安全支援ボランティアが同行

# 例えば、遊び支援ボランティア

秋津実践

ふれあいタイム
隔週木曜日のロング昼休み
12:55～13:40で多世代交流

# 例えば、情報支援ボランティア

秋津実践

## 地域のかぜ　学校のかぜ

平成 19 年 10 月 19 日
NO. 6
学校運営協議会
パートナー会議
習志野市立秋津小学校

子どもたちは、先月は『秋津小と地域の大運動会』、今月は『秋津まつり』と地域と密着した行事を終えて、地域の一員としての自覚が持てたことでしょう。地域の皆様とふれあえる機会がたくさんあるという事は、学社融合による教育活動の実践でもあります。子どもたちはふれあう人やかかわる人が広がり、人と接することに抵抗感が少なくなり、相手を受け入れようとする思いやりの心や優しさが少しずつ育ち、コミュニケーション能力が養われてきております。この環境を絶やすことなく継続していきたいものです。今後もご協力の程、よろしくお願いいたします。

### お知らせ

▼高齢者体験（2年生）学習支援の方々と共に！

▲社会科見学（4年生）安全支援の方々と共に！

**意見箱『かぜの声』を知っていますか？**

１階昇降口横（コミュニティ和室外）に設置してある意見箱を知っていますか？これは、地域住民の意見や要望を届けていただけるように設置してあります。設置して９ヶ月になります。宣伝が足りない・・・？意見がないのか？
利用がまだありません。ちょっとした考えや意見・ほめ言葉でも何でも、気軽にご活用いただけたらと思います。

ぼく、「かぜの声」です。
みなさんの意見や要望をお待ちしています。

**１１月のグリーン運動**
11月 15 日（木）　地域の方と一緒に
ロータリー内の花壇の雑草抜き・手入れ
<9：00～10：30>

**11月のクリーン運動**
11月 7 日（水）　4年2組・1年とボランティ
11月27 日（火）　6年2組とボランティア
学校周辺のゴミ拾い
<8：20～8：40>
※活動予定は、まちの掲示板をご覧下さい！

*＝ボランティア募集＝*
子どもたちと一緒に活動してみませんか！

<問い合わせ先>
平　日　：047－451－8111
秋津小学校（渡邊）
休日と夜：090－6791－4762
パートナー会議　委員長　（鮎川）
※気軽にお問い合わせください。

第７回　パートナー会議
平成 19 年 10 月 19 日
19：00～20：30　秋津小学校
1．報告事項
①第６回パートナー会議議事録について
②学社融合授業等の活動について
2．協議事項
①学校評価検討委員会の報告（最終
②公開研究会について

### ふれあい

10 月 6 日（土）“秋津まつり　27”前夜祭

前夜祭ステージでは、秋津小の子どもたちによる一芸大会が、行われ、大勢の観客を前にのびのびと一芸を披露しておりました。立派です。

10 月 7 日（日）“秋津まつり　27”本まつり

▼“おまつり忍者”をおどる秋津幼稚園園児！

７日（日）のお祭りは、登校日として参加しました。晴天に恵まれ、会場となったパス通りは、一目見ようと大勢の地域の方たちで埋め尽くされました。♪♪秋津は神社もありませんが、元気な子どもたちがいます。♪♪

▲秋津ぼか面おどり愛好会の方たちと一緒におどる３年生。見れば見るほどこっけいな表情です。

▲手作りの子どもみこしでワッショイ！

**HPの作成・地域配布の広報紙づくりのボランティアで、大人のパソコン技術力が楽しくアップ**

## 秋津の「3つの機能」を活かした生涯学習の推進　その①

では、秋津は、何をしてきたのか？

### ①授業を住民と協働して生涯学習　1992年度開始

**200日間の授業時間内＝狭義の学社融合**

秋津小では**人間だいすきふれあい活動**と呼び、
**50～105時間を学年に応じて毎年充当**

◆コミュニティ・スクールに千葉県最初に2006年度に指定
◆文部科学省施策「学校支援地域本部事業」の小学校モデル

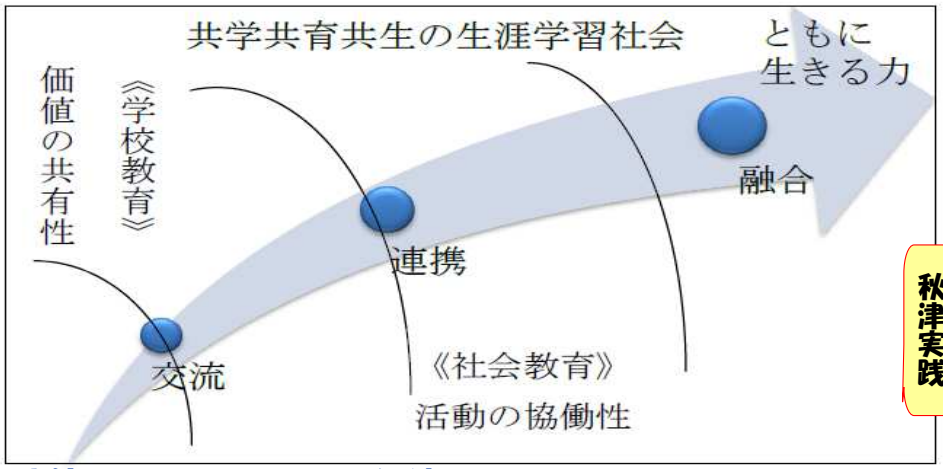
秋津実践

秋津の伝統「ばか面（めん）踊り」を秋津まつりで（3年生）

秋津まつりは授業の一環（全学年）

## 秋津小学校の「人間だいすきふれあい活動」を推進する交流・連携・融合の違い

秋津小学校発行『秋津小学校「第8回公開研究会・研究の概要と学習指導案」』2005年より、岸が改編して作図。




秋津実践

**交流：ふれあいそのものに価値がある**
**連携：一方がカリキュラムを作成し,他方がそれに支援や協力をする**
**融合：協働によるカリキュラムの作成。価値の共有。ともに評価。**
**無償のボランティア**

## 秋津は融合型で推進してきた⇒連携と融合の違い

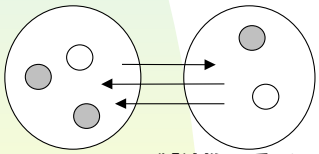
関わりあう2人以上や機関同士が、主体者A・B双方の目指す目的を同時に果たし、ときにはCという新しい価値をも生むように、はじめから意図して、あることを仕組む発想法（岸の各種の著書より）。

**「融合の発想＝Win＆Win」は双方にメリット**

秋津実践

◆連携と融合は似て否なるもの。使い分けが大切◆

【 連携＝Give＆Take 】

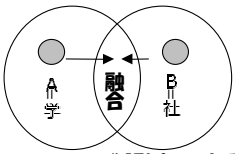


Ⅱ「連携」は重ならない

物的・人的な資産の交換の状態

※交換バランスが一方に偏りがちで長続きしにくい

【 融合＝Win＆Win 】




Ⅱ「融合」は意図的に重ねる

物的・人的な資産の共有や協働の状態

※はじめから双方のメリットを仕組むので長続きする

出典：岸裕司著『学校開放でまち育て－サスティナブルタウンをめざして』（学芸出版社、2007年）ほか

## 秋津の「3つの機能」を活かした生涯学習の推進　その②

# ②学校施設を住民と共用・生涯学習

教育長が管理責任者
教職員の負担なし

**秋津小学校コミュニティルーム**　1995年開設

放課後や休日も利用できる余裕教室4室＋余裕敷地300㎡＋陶芸窯

**365日生涯学習を楽しむ（授業外）**

◆2005年に文科省が開始した「地域子ども教室」も秋津コミュニティが自主運営

秋津実践

⇒鍵は51人の委員のうち15人が保管貸し出し、夜や休日の災害時も自主避難

**スクール・コミュニティ**　秋津コミュニティの自主運営による生涯学習学校

余裕教室の地域開放（1階4教室）

放課後コミュニティルームで民謡教室

休日にコミュニティルームでうどんづくり教室（男性の居場所）

---

## コミュニティルームでの放課後子ども教室を秋津コミュニティが自主運営

# 秋津・地域で遊ぼう！教室　放課後・休日240日開催

放課後はおばちゃんたちが

ミサンガ教室

手づくり作品の掲示

水彩画教室

参加費1回0円～100円、保険代は年間500円

ビーズ教室

算数・数学教室

すべての教室に参加できます。

教職員の出勤はありません。

## 秋津・地域で遊ぼう！教室　放課後・休日240日開催

## おやじの出番づくりと地域・学校・行政の課題の融合例
## 防災訓練＋お楽しみキャンプを学校で！

**1997年当時の3者の課題は？**

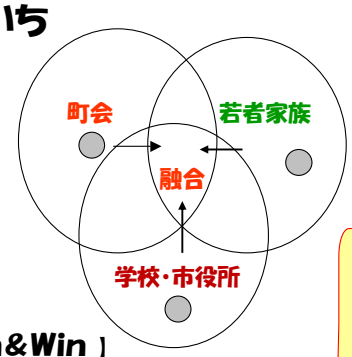
**町会：防災訓練に若者が参加しない**

**若者家族：防災訓練は楽しくない**

**学校・市役所：自主防災体制がいまいち**

**⇒じゃあ、融合で！**

課題をシメタ！に変える社会教育の手法例




秋津実践

【 3者が融合＝3者がWin＆Win 】

「融合」は意図的に重ねる

物的・人的な資産の共有や協働の状態

※はじめから双方のメリットを仕組むので長続きする

## 防災被災訓練を兼ねた一泊キャンプ！
## 父子主体のお楽しみイベントに工夫

阪神・淡路大震災に学び1997年に開始

学校に泊まり被災体験＋1泊キャンプで学校が避難所であることを体験

学校に設置の防災釜を使うナイフはこう使うんだぞ！

## 市役所と融合
## 防災倉庫の備品で防災訓練

だれかがオシッコしたよ！

秋津実践

## 防災被災訓練＋お楽しみキャンプは大成功！

課題をシメタに！

**3者の課題を解消**

**町会**：防災訓練に若者の参加が増えた！

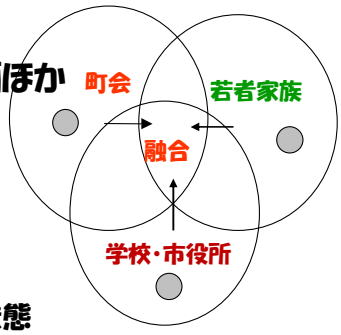
**若者家族**：防災キャンプは楽しい！

**学校・市役所**：自主防災意識が高まった！

⇒**融合はいいね！**

**新しい価値C**＝親睦・子どもの社会参画ほか

**3.11の際にも活かされた！**




【3者が融合＝3者がWin＆Win】

「融合」は意図的に重ねる

物的・人的な資産の共有や協働の状態

※はじめから双方のメリットを仕組むので長続きする



## 2011.3.11秋津小学校コミュニティルームに避難してきた住民の様子

**買い出しからお年寄りのお世話も住民自治で**

**学校に設置の防災倉庫の備品も利用**

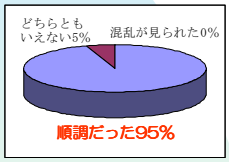
**先生は体育館で子どものお世話に専念**

# 学校支援地域本部等の2011.3.11震災時の様子
## 仙台市教育委員会調査より

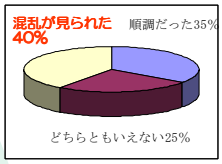
## 災害は現実をあぶり出した

Q　避難所において自治組織が立ち上がる過程は順調だったか。（校長　　）

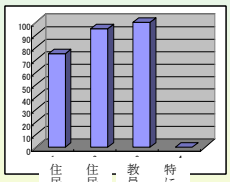
（学校支援地域本部設置20校）



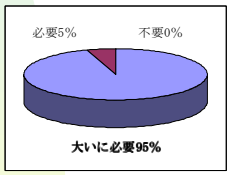

（学校支援地域本部未設置20校）




Q　学校支援地域本部のコーディネーターは震災避難時，避難所運営，学校復旧でどんな役割を果たしたか。（学校支援地域本部設置20校の校長　複数回答可）




Q　学校支援地域本部等のシステムは今後の学校運営に必要か。（学校支援地域本部設置20校）



## 本当の復興は「秋」から「地域」の手で

先生方の声

**（地域との協働のシステムができていた学校）**

○コーディネータは学校と自治会，商店会などのたくさんの人たちをつなぐ接着剤になりました。
○学校支援ボランティアの調整により，避難所開設時には，学校や子どもに配慮したルールができあがっていました。
**○「先生は学校のことと家族のことを考えてください。避難所は私たちにまかせて」と学校支援ボランティアからの声には胸がつまりました。**
○コーディネータやボランティアは学校再開に向けての避難所閉鎖の時にこそ存在感が際だちました。避難住民と子どもたち，学校の様子がよく分かっているからこその活躍でした。

**（地域との協働のシステムができていなかった学校）×物資を配布するにも避難者の顔もわからず混乱しました。権利を振りかざして物資を奪っていく人たちや，どさくさに紛れて決められた数量を守らない人がいても見過ごすしかありませんでした。**

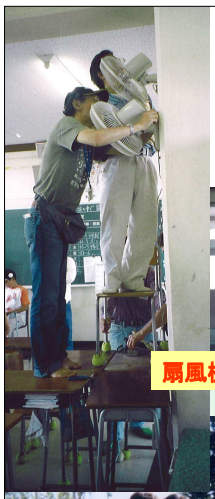
コーディネータの声

○学校支援地域本部は，実質，避難所支援地域本部となり，避難住民や子どもたち，先生方の声をボランティアが集約すると，みんなで不足するものを持ち合い，配食や清掃などの自治的な動きは加速していきました。（学校支援コーディネーター，PTA）
○避難所運営の格差は日頃の学校と地域住民のかかわりの質の格差でもありました（民生委員・学校支援コーディネータ・PTAOB）
**○会議だけで顔を合わせる人よりも，定期的に子どもたちや先生たちといっしょに汗をかいている人はごく自然なかたちで避難所を支援する側に立っていました。（民生委員・学校支援コーディネータ，PTAOB）**

今求められること！
○保護者の多くが，子どもをひとりで自宅においておきたくないと考えています。また，子どもも地震への不安がぬぐえず，放課後子ども教室の需要がますます高まっています。
○子どもたちの姿は，これまでに見たことのないようなオーバーアクションです。地域総ぐるみによる子育てこそ，復興には不可欠だと思います。
**○全国からのボランティアが去り，雪がちらつく頃にこそ本当の復興は住民の手によって進められていくものだと思います。**

出典：野澤令照前仙台市教育委員会教育次長・現市立寺岡小学校校長、融合研副会長

## おやじたち、中学校にも進出！



扇風機を教室に

花壇づくりもおやじたち

文化祭でお餅つき

## 秋津の「3つの機能」を活かした生涯学習の実践　その③

# ③子縁（こえん）で人と人、学校と地域をつなぐ

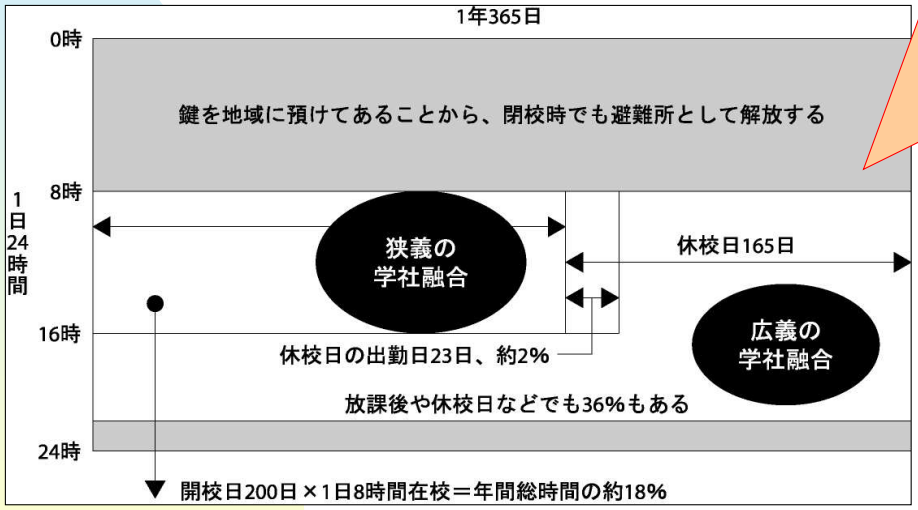
### 小学校を拠点に365日生涯学習を楽しむスクール・コミュニティを実現

校庭に手づくりしたビオトープ
休日に集いザリガニ釣りを楽しむ地域の人々

「子縁（こえん）」は、子を持つ親はもちろんであるが、何らかの事情で子を持たない若夫婦や子や孫などもいない、または同居していないお年寄りなどにも拡大させて、地域社会でさまざまな人と人をつなぐ新しい縁結びの考え方。出典：岸裕司著『学校開放でまち育て』（学芸出版社、2007年）ほか

## 学びと施設の2つの学校機能を地域に開いた秋津モデルのスクール・コミュニティの状態

### 放課後や休日も含めた生涯学習での学校活用の時間帯（白の部分）




利用者住民15人が鍵を保管貸し出し

作図：岸裕司　出典『学校開放でまち育てーサスティナブルタウンをめざして』（2008、学芸出版社）ほか

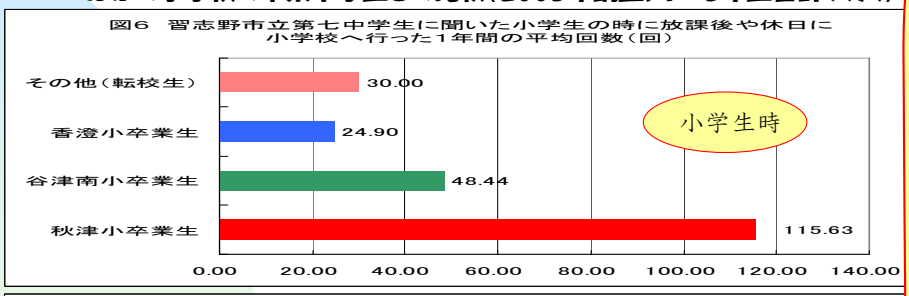
先の映像のように先生が評価しているが…
**では、秋津の子どもはどのような青年に育ったか**

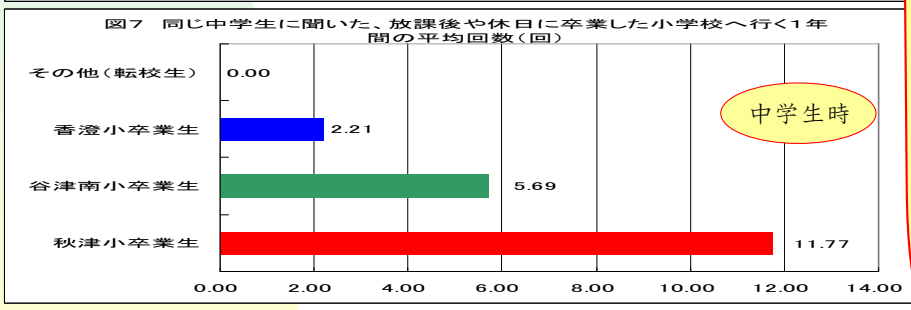
①授業を楽しむ大人の参画者
**年間延べ2万人**　主に母親と高齢者（週日昼間）
②学校施設開放＝秋津小学校コミュニティルーム
放課後も休日も生涯学習を楽しむ人数は
**年間延べ1.2万人**　休日は父親や男性が多い

＜仮説＞
秋津の児童は、年間を通して多くの大人とふれあい、さまざまな体験を通しての**コミュニケーション能力**や、**自尊感情**の向上といった**見えない学力**ともいいうる**生きる力**が育成されているのではないか。



中学生に追跡調査　秋津小の児童は**中学生になっても母校によく来る**＝幼少期に**ふるさと意識**が育成されていたからか
ほかの小学校の卒業中学生との比較（2003年調査、1～3年生合計99人）

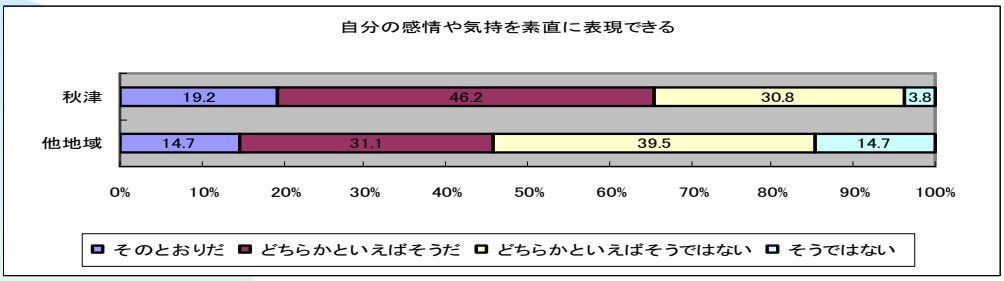


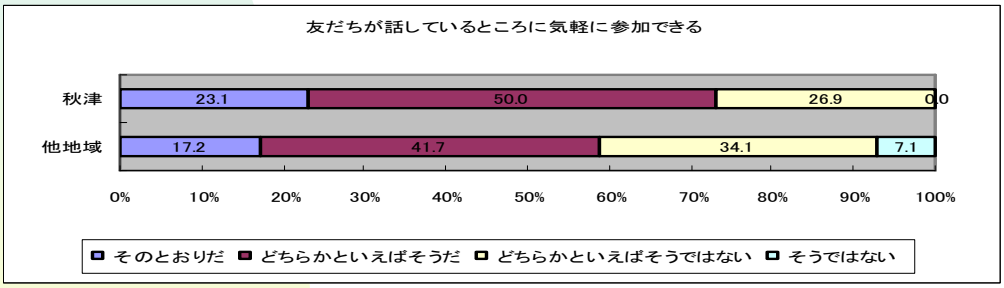




**幼保小中連携は、いいんじゃない！**

滝瀬容子『地域に開かれた学校における子どもの環境認知』2003年3月、白百合女子大学大学院生時代の修士論文より、岸が作図。

# 高校生に追跡調査　総合的な「生きる力」の効果
## 秋津小卒業生は、コミュニケーション能力が比較的高い

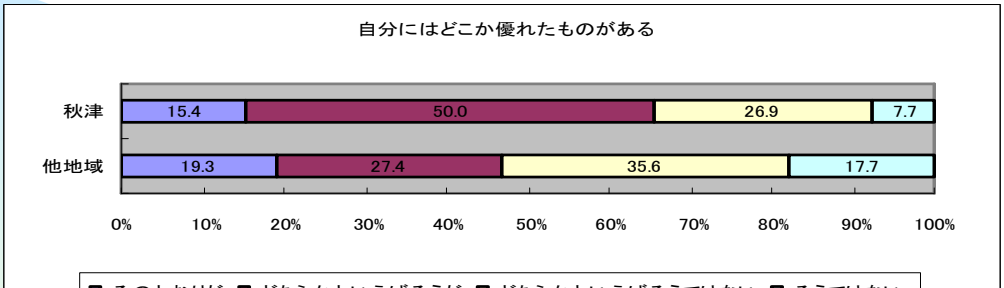


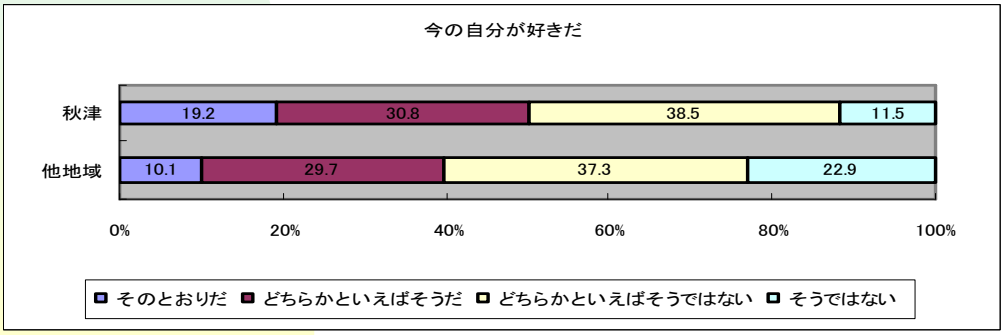




秋津小卒業高校生男子で調査時に秋津に在住する26人とほかの地域（横浜市・川崎市・福岡県小郡市）の高校生男子370人との傾向の比較。2006年12月～7年1月調査。川崎末美東洋英和女学院大学人間科学部教授の調査レポート『共生型集住の可能性－家族・コミュニティ・地域・環境の視点から－学校を基地にした多元的共生空間』2007年3月3日「国立民族学博物館・多元的共生空間の創成に関する共同研究会」での報告書より。※以下のデータも同様。

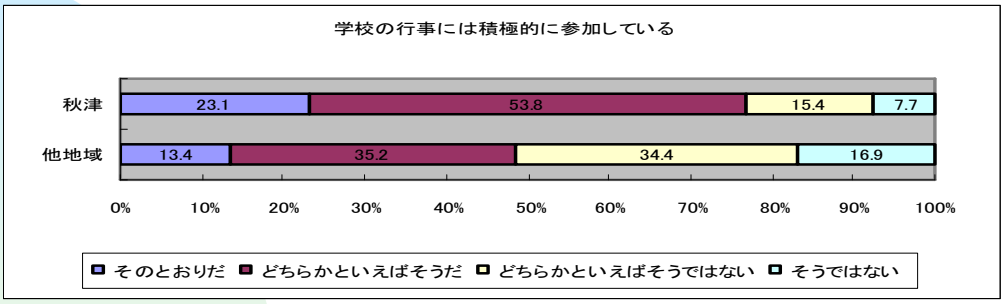


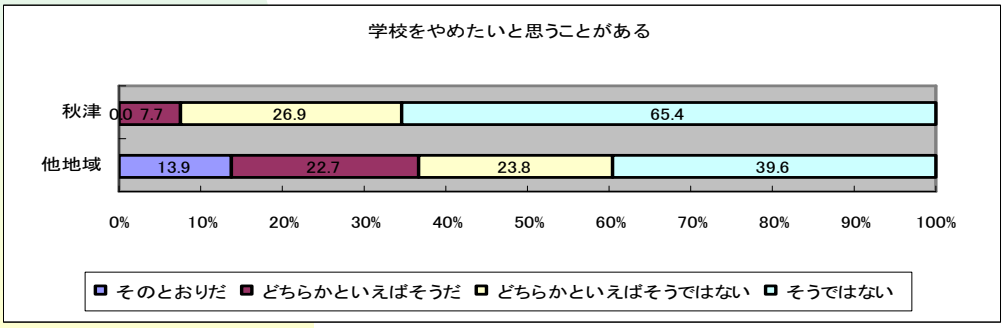
# 高校生に追跡調査　総合的な「生きる力」の効果
## 秋津小卒業生は、自尊感情が比較的高い



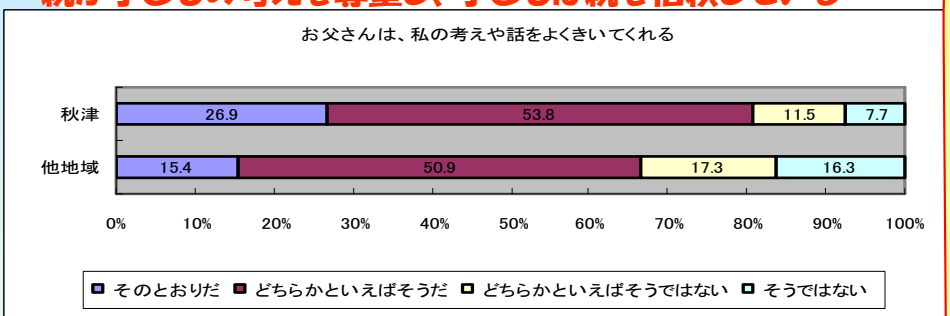



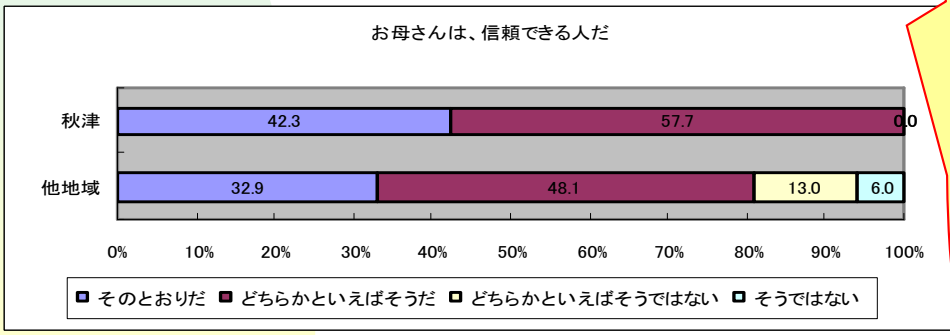
# 高校生に追跡調査　総合的な「生きる力」の効果
## 秋津小卒業生は、高校生活によく適応している




# 高校生に追跡調査　総合的な「生きる力」の効果
## 親が子どもの考えを尊重し、子どもは親を信頼している




母親の安定感は父親の学校や地域参画が多いからか？

以上の秋津での追跡調査結果から、

幼少期からの**開かれた学校・開かれた地域**での子育てのあり方から**開かれた家庭**に自然になり、子どもらは**ふるさと意識**と明るく前向きに**生きる力**が育成され、中高校生に成長しても持続されるのだろうと推察できる。

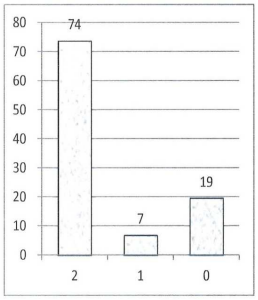
つまり、**さまざまな問題を先送りにしない「三つ子の魂百までも」**を可能にするのではないかと、まだ仮説であるが思われる。



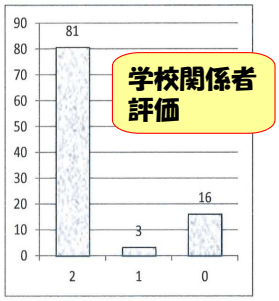
## 秋津小の学校評価から（2011年度末）
## 評価のための評価ではなく、次につなげる形成的評価

質問項目13　学校は，保護者や地域と積極的に連携し子どものよりよい成長のために努力している

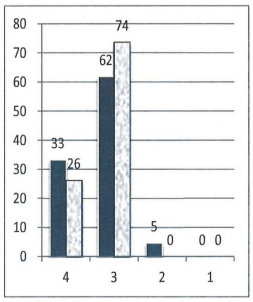
保護者　（3学期のみ）




地域　（3学期のみ）




教職員




○保護者・地域・教職員・・・良好

秋津小学校はコミュニティスクールとして、これまで保護者及びPTA組織、地域の方と連携し様々な幅広い支援を地域の方々から受け、子どもたちは通常の学校ではできない体験をしたり、学習支援を受けることができている。行事の際の安全支援や情報発信の支援、環境美化の支援など教職員も大いに助かっている。その分、教職員は子供に目を向けることができた。**教職員のアンケート結果も「努力している」が去年より増加**している。

学校運営について学校運営協議会・パートナー会議で学校の考えを伝え、協議し、ともに協力し合ってきている。また折々で学校として支援が必要なことを地域に伝え協力していただいている。特に**今年度は地震、放射能、感染症といった危機から子どもたちを守るための危機管理・安全管理の徹底とこれまでの安全教育を見直し**改訂してきたが、このことについてもご意見を頂き「大地震・津波マニュアル」を策定することができた。協議内容は子どものよりよい成長を顧って行ってきており、学校長の学校運営の助けとなっている。今後とも継続していきたい。

# 秋津小の学校評価から（2012年度末）

「知」（学力の維持・向上）　→　学力テストが、平均点かそれ以上か
「徳」（心の教育の推進）　→「いじめ０・不登校０」を保持できているか
「体」（健康・体力の増進）　→「千葉県運動能力証」の受賞者数の増

## 「知」（学力の維持・向上）の評価

平成２４年度　学力テスト平均点

| | | １　年 | ２　年 | ３　年 | ４　年 | ５　年 | ６　年 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 国語 | 本校 | ８６．０ | ９０．０ | ８０．２ | ７１．１ | ７５．１ | ７９．６ |
| | 全国 | ８１．４ | ８４．７ | ７０．８ | ６９．４ | ７２．１ | ７７．１ |
| 算数 | 本校 | ８８．３ | ７９．７ | ８０．０ | △６６．９ | ７８．３ | ７４．３ |
| | 全国 | ８５．８ | ７６．４ | ７４．２ | ６７．４ | ６９．４ | ６８．９ |

１，２，３，５，６年は、
学力テストの平均点が全国平均を上まわりました。

４年は、ほぼ平均点をとることができました。

保護者や地域に配布の『今年度の教育活動とその評価について』 2013年3月、秋津小学校

# 秋津小の学校評価から（2012年度末）

## 「徳」（心の教育の推進）の評価

各学期に行ったアンケートから分かったトラブルについてはすべて解決しました。また、２月末日の時点で、３０日以上欠席した児童は見られません。

２月末日の時点で、
「いじめ０・不登校０」を維持することができています。



保護者や地域に配布の『今年度の教育活動とその評価について』 2013年3月、秋津小学校

# 秋津小の学校評価から（2012年度末）

「体」（健康・体力の増進）の評価

千葉県新体力テスト校内記録更新年（★：本年度記録を更新した種目）

※表の見方　例えば、４年女子「握力」は、平成17年度に記録を更新して以来新記録は出ていなかったが、今年度新記録が生まれたという意味です。人数の記載がある項目は、複数の子どもが新記録を出したという意味です。

| | | 握力 | 上体起こし | 長座体前屈 | 反復横跳び | シャトルラン | ５０ｍ走 | 立ち幅跳び | ソフトボール投げ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| １年 | 男子 | Ｈ２０ | Ｈ２０ | Ｈ１５★ | Ｈ２１★ | Ｈ２０★ | Ｈ２０ | Ｈ１５ | Ｈ１５ |
| | 女子 | Ｈ２３★（４人） | Ｈ１５ | Ｈ１９ | Ｈ１７★ | Ｈ２３ | Ｈ１５ | Ｈ１９ | Ｈ１７ |
| ２年 | 男子 | Ｈ１５ | Ｈ１８ | Ｈ１９★ | Ｈ２１ | Ｈ２３ | Ｈ２３ | Ｈ１５ | Ｈ１８ |
| | 女子 | Ｈ１８ | Ｈ１８ | Ｈ１８★ | Ｈ１５★ | Ｈ２１★ | Ｈ１８ | Ｈ１５ | Ｈ１６ |
| ３年 | 男子 | Ｈ１８ | Ｈ２３ | Ｈ１５ | Ｈ１６ | Ｈ１９★ | Ｈ２３★ | Ｈ１８ | Ｈ１７★ |
| | 女子 | Ｈ１９★ | Ｈ２３ | Ｈ１５ | Ｈ１６ | Ｈ１９ | Ｈ２３ | Ｈ１８ | Ｈ１７ |
| ４年 | 男子 | Ｈ１７ | Ｈ２３★ | Ｈ２１ | Ｈ１８ | Ｈ２３ | Ｈ１８ | Ｈ１７ | Ｈ１５ |
| | 女子 | Ｈ１７★ | Ｈ２１★ | Ｈ１８ | Ｈ１５ | Ｈ１５ | Ｈ１５ | Ｈ１７ | Ｈ１８ |
| ５年 | 男子 | Ｈ１８★ | Ｈ１９★ | Ｈ１５★ | Ｈ１６ | Ｈ２３ | Ｈ１５★ | Ｈ１５ | Ｈ１８ |
| | 女子 | Ｈ２３★ | Ｈ１９ | Ｈ１５ | Ｈ２３ | Ｈ２１ | Ｈ１５★（２人） | Ｈ２１ | Ｈ２３ |
| ６年 | 男子 | Ｈ２０ | Ｈ２０★ | Ｈ１９ | Ｈ２０ | Ｈ１８ | Ｈ２３ | Ｈ１５ | Ｈ２０ |
| | 女子 | Ｈ２３★ | Ｈ２３★ | Ｈ２０ | Ｈ２３★ | Ｈ１９ | Ｈ２３ | Ｈ２３ | Ｈ２３★ |

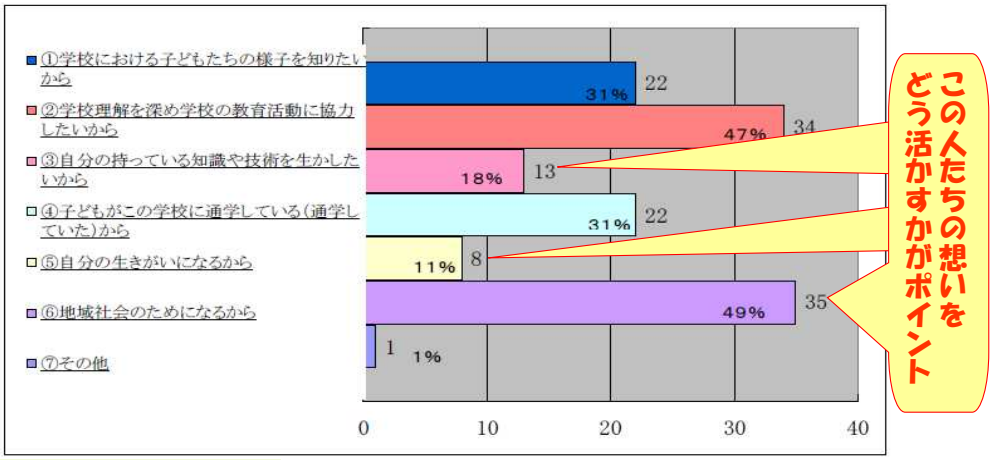
新体力テストの校内の記録を、
更新した子どもが３１名に上りました。

千葉県運動能力証の受賞者
昨年の４２名から、本年度は４８名に増加しました。

保護者や地域に配布の『今年度の教育活動とその評価について』 2013年3月、秋津小学校

# 美加の台中学校区地域コーディネーターの優れた資質

**問２** 学校支援ボランティアを行なおうと考えた理由　（複数回答　n＝72）




この人たちの想いをどう活かすかがポイント

子どもや学校のためだけではなく、「地域社会のために」や「自分の知識や技術を生かしたい」を念頭に置きながら活動を始めた人の割合が多く、「自分の生きがい」にまで感じてくださることに注目しました。今後も学校とボランティア双方の要望や思いを伝え、より適切につなぐコーディネートに心がけねばならないと思いました。

学校支援ボランティアアンケート調査結果　大阪府河内長野市立美加の台中学校区ゆめ☆まなびネット平成22年1月実施より

## 秋津実践から生まれたキーワード

### ①できる人が、できるときに、無理なく、楽しく！

### ②楽しく、ゆっくり“わたし流”に！

### ③自主・自律・自己管理

秋津小学校コミュニティルームの住民自治による自主運営の価値
学校の鍵を住民が預かることで、自治意識と「おらの学校」意識が向上

### ④自助、共助、最後に公助のまち育て

## 秋津実践での学校を拠点とした生涯学習と福祉コミュニティ＝スクール・コミュニティ創成の究極の目的

目的①誰でもが、いつでもどこでも学べる、生涯学習のまち育てに寄与する学校と地域をつくる

目的②誰でもが、安心で安全に学び働き暮らせる、ノーマライゼイションのまち育てに寄与する学校と地域をつくる

⇒教職員にとっても働きやすい職場

例）子育てサークルがコミュニティルームで教職員の乳幼児の面倒を見、休み時間に授乳する。何かあれば校医さんに診てもらう

手法は、学社融合を適用し、学校づくり・子育ち・まち育てをセットで推進すること

## 秋津の標語：少子化時代の大家族、学校と地域で育てる秋津っ子

**秋津菌に感染したかな？**
（危ない菌ではありません。念のため）

コミュニティ・スクール
から
スクール・コミュニティ
を推進する校門の看板

**学校づくり・子育ち・まち育てはセットでできる！**
**でした。ありがとうございました！**